

山への思い（二〇一七年、二〇一八年 俳句八句）

斎藤 勲

「山と溪谷」掲載 山田春生・選

二〇一六年十二月三十日 八ヶ岳

かんば
寒晴れに心もはづむ一歩かな

二〇一七年三月二十五日 鋸山

わすれ雪背に受け下る山静か

二〇一七年六月二十日 仙ノ倉山・平標山

くまよ
熊除けの鈴の音優し風涼し

二〇一七年九月二十日 燧ヶ岳

ちとう
草もみぢ池塘は青き空映す

二〇一七年十二月十一日 白毛門

ふつぎよう
たにがわ
払暁や雪の谷川岳あかね射す

二〇一七年十二月三十日 八ヶ岳

かぞえび
だいどうしん
数へ日や夕陽の淡き大同心

二〇一八年三月十三日 谷川岳・西黒尾根

たわ
霧氷散る光と風とたはむれて

二〇一八年六月二十六日 越後駒ヶ岳

げざんろ
ほととぎす
下山路の深きしじまや時鳥